



Hewlett Packard
Enterprise

HPE CNU コマンドラインインターフェイス ユーザーガイド

摘要

このドキュメントは、Ethernet、FCoE、iSCSI、および NPAR デバイスの構成の担当者を対象としています。

部品番号: 762876-197
発行: 2017 年 6 月
版数: 7

目次

はじめに.....	5
CLI の概要.....	5
CLI コマンドカタログ.....	5
コマンドラインの構文.....	5
CLI コマンド.....	6
一般的な hpcnucli コマンド.....	6
iSCSI サブコマンドのプロパティ.....	6
ログインオプション.....	11
お気に入りターゲットオプション.....	12
FCoE サブコマンドのプロパティ.....	12
NPAR サブコマンドのプロパティ.....	15
Ethernet サブコマンドのプロパティ.....	16
CLI ヘルプコマンドのスクリーンショット.....	18
CNU システムログの場所.....	19
Web サイト.....	20
サポートと他のリソース.....	21
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	21
アップデートへのアクセス.....	21
カスタマーセルフリペア (CSR)	22
リモートサポート (HPE 通報サービス)	22
保証情報.....	22
規定に関する情報.....	22
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	23
頭字語と略語.....	24

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピュータソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft®、Windows®、および Windows Server®は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Linux®は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

はじめに

CLI の概要

このドキュメントでは、GNU の CLI ガイドラインを提供します。

CLI コマンドカタログ

このドキュメントでは、Ethernet、iSCSI、FCoE、および NPAR サブコマンドの CLI ガイドラインおよび使用法を提供します。

コマンドラインの構文

CLI の入力、特に指定されていなければ、大文字と小文字の区別はありません。一般的な CLI 構文の書式は次のとおりです。

```
hpcnucli <[コマンド] | [パーソナリティー]> [<管理対象エレメント>] [<オプション> <パラメーター>]
```

項目	説明
コマンド	実行される操作
パーソナリティー	-ethernet、-iscsi、または-fcoe に対する管理対象エレメントのパーソナリティー
管理対象エレメント	オプションの管理対象エレメント識別子 [Ethernet MAC / iSCSI MAC / FCoE ポート WWN] これがパーソナリティーによって必要とされる場合があります
オプション	管理対象エレメントで実行されるコマンド
パラメーター	管理対象エレメントコマンドに使用されるオプションパラメーター

CLI コマンド

一般的な hpcnucli コマンド

hpcnucli の一般的なコマンドは次のとおりです。

コマンド	説明
hpcnucli -help	CNU CLI アプリケーションの全般的なヘルプおよびすべてのコマンドの概要を表示します。
hpcnucli -about	製品名、所有者、バージョンなど、製品に関する情報を表示します。
hpcnucli -showadapter	アダプター名、ポート名と MAC アドレス、またはポート WWN を、iSCSI または FCoE 構成に基づき、すべてのサポートされるアダプターに対して表示します。
hpcnucli -getfirmware	コンソール上の指定されたポートに関連するファームウェア情報を表示します。 例： hpcnucli -getfirmware <特定のポートの MAC アドレスまたはポート WWN>
hpcnucli -import	あるマシンから別のマシンへ XML 構成をインポートします。

iSCSI サブコマンドのプロパティ

iSCSI サブコマンドを使用するときは、ログインオプションの使用が必要になる場合があります。ログインオプション情報については、「[ログインオプション](#)」を参照してください。お気に入りターゲットオプション情報については、「[お気に入りターゲットオプション](#)」を参照してください。

hpcnucli -iscsi サブコマンドのオプションは次のとおりです。

コマンド	説明
hpcnucli -iscsi -getinitiator	iSCSI イニシエーター名を表示します。
hpcnucli -iscsi -setinitiator	iSCSI イニシエーター名を、指定した名前に変更します。 例： hpcnucli -iscsi -setinitiator <イニシエーター名>
hpcnucli -iscsi -isns -listall	すべての iSNS サーバーを一覧表示します。

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -iscsi -isns -add</code>	<p>引数として入力されたサーバー IP アドレスに基づいて iSNS サーバーをシステムに追加します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi -isns -add <IP アドレス></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -isns -remove</code>	<p>引数として入力されたサーバー IP アドレスに基づいて iSNS サーバーをシステムから削除します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi -isns -remove <IP アドレス></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -portinfo</code>	<p>コンソール上の指定されたポートに関連するすべての情報を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -portinfo</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -portstat</code>	<p>指定されたポートのすべてのポート統計情報を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -portstat</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -defparam</code>	<p>コンソール上のポートに関連するデフォルトのドライバパラメーターを表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -defparam</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -getbootconfig</code>	<p>コンソール上のポートの現在のブート構成を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -getbootconfig</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -setbootconfig</code>	<p>コンソール上のポートの現在のブート構成を表示し、ブート構成を対話型で変更できるようにします。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -setbootconfig</pre>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -iscsi -portal -listall</code>	<p>使用中のすべてのポータルを表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -portal -listall</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -portal -add</code>	<p>引数として入力されたターゲット IP アドレスおよびポート番号に基づいてポータルをシステムに追加します。</p> <p>ログインオプションはオプションです。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -portal -add <ターゲット iSCSI ターゲットポータルのポータル IP> [ポート番号] [ログインオプション]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -portal -remove</code>	<p>引数として入力されたターゲット IP アドレスおよびポート番号に基づいてポータルをシステムから削除します。</p> <p>デフォルトの iSCSI ターゲットポータルポートは 3260 です。</p> <p>ログインオプションはオプションです。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -portal -remove <ターゲット iSCSI ターゲットポータルのポータル IP> [ポート番号] [ログインオプション]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -listall</code>	<p>現在検出されているすべてのターゲットを表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -listall</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -listactive</code>	<p>現在接続されているすべてのターゲットを表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -listactive</pre>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -iscsi -target -login</code>	<p>引数として入力された iSCSI ターゲット IQN、ポータル IP アドレス、およびポート番号に基づいてターゲットをシステムに追加します。</p> <p>ログインオプションおよびお気に入りターゲットオプションはオプションです。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -login <追加およびログインする iSCSI ターゲット> <iSCSI ターゲットポータルの IP アドレス> [iSCSI ターゲットポータルのポート番号] [ログインオプション] [お気に入りターゲットオプション]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -getinfo</code>	<p>指定されたターゲットの情報を取得します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -getinfo <iSCSI ターゲット IQN></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -sessioninfo</code>	<p>現在ログインしているセッションの情報を取得します。</p> <p>セッション ID の範囲は 0 から N-1 で、N はセッション数です。</p> <p>セッション ID のデフォルト値は 0 です。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -sessioninfo <iSCSI ターゲット IQN> [セッション ID]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -logout</code>	<p>定義されたターゲットからログアウトします。</p> <p>セッション ID のデフォルト値は 0 です。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -logout <iSCSI ターゲット IQN> [セッション ID]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -remove</code>	<p>引数として入力された iSCSI ターゲット IQN に基づいてターゲットをシステムから削除します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -remove <iSCSI ターゲット IQN></pre>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -iscsi -target -lunlist</code>	<p>すべてのアクティブな LUN を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -lunlist <iSCSI ターゲット IQN></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -ping</code>	<p>指定された IP アドレスに ICMP ping 要求を送信して接続を確認します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -ping <ping 要求の送信先 IP アドレス></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -modifytcpip -ipv4/ipv6 -dhcp</code>	<p>iSCSI ホスト (IPv4 または IPv6 のいずれか) を DHCP クライアントとして設定して、TCP/IP 設定が DHCP サーバーによって自動的に構成されるようにします。VLAN ID は 0~4094 までの範囲です (0 は VLAN が無効であることを示します)。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -modifytcpip -ipv4/ipv6 -dhcp [オプションの VLAN ID]</pre>
<code>hpcnucli -iscsi -modifytcpip ipv4/ipv6 -static</code>	<p>iSCSI ホスト上の TCP/IP 設定 (IPv4 または IPv6 のいずれか) を手動で構成するように設定します。VLAN ID は 0~4094 までの範囲です (0 は VLAN が無効であることを示します)。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -modifytcpip -ipv4/ipv6 -static <VLAN ID> <IP アドレス> <サブネットマスク> <ゲートウェイ></pre>
<code>hpcnucli -iscsi -target -listpersistent</code>	<p>指定した iSCSI ポートからすべての iSCSI お気に入りターゲットを表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -listpersistent</pre>

表は続く

コマンド	説明
<pre>hpcnucli -iscsi -target -removepersistent</pre>	<p>引数として入力された iSCSI ターゲット IQN に基づいて iSCSI お気に入りターゲットをシステムから削除します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -removepersistent <iSCSI ターゲット IQN></pre> <p>指定した iSCSI ポートからすべての iSCSI お気に入りターゲットを削除します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -removepersistent -all</pre>
<pre>hpcnucli -iscsi -target -setautlogin</pre>	<p>引数として入力された iSCSI ターゲット IQN に基づいて iSCSI ターゲット自動または手動ログインをシステムから設定します (Linux のみ)。</p> <hr/> <p>注記:</p> <p>お気に入りターゲットは、Linux では自動ログインとも呼ばれています。</p> <hr/> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -iscsi <iSCSI ホストポート上の MAC アドレス> -target -setautlogin <iSCSI ターゲット IQN> [自動/手動]</pre>

ログインオプション

hpcnucli -iscsi のログインオプションは次のとおりです。

ログインオプション	説明
-mp	マルチパス。デフォルトでは有効です。
-hd	ヘッダーダイジェスト
-dd	データダイジェスト
-option	<p>指定される CHAP 値。双方向または一方向。</p> <p>使用できる CHAP 値 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • [-Option (-mutualCHAP -oneWayCHAP)] • [ターゲット CHAP] • [ターゲットシークレット] • [イニシエーター CHAP] • [イニシエーターシークレット]

お気に入りターゲットオプション

お気に入りターゲットオプションはオプションです。表示されるデフォルト値は、使用している OS に依存します。表示されるターゲットログインの値は次のようになります。

Windows および RHEL : お気に入りターゲット

SLES : お気に入りターゲットではない

`hpcnucli -iscsi -target -login` お気に入りターゲットオプションは次の表に示されています。

オプション	説明
<code>-np</code>	お気に入りターゲットではない
<code>-p</code>	お気に入りターゲット (Linux のみ)

FCoE サブコマンドのプロパティ

`hpcnucli -fcoe` サブコマンドのオプションは次のとおりです。

コマンド	説明
<code>hpcnucli -fcoe -portinfo</code>	指定する FCoE ポートに関連するすべての情報を表示します。 例 : <code>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -portinfo</code>
<code>hpcnucli -fcoe -resetstat</code>	FCoE ポートの静的属性値を 0 にリセットします。 例 : <code>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -resetstat</code>
<code>hpcnucli -fcoe -getdcbinfo</code>	指定するポート WWN のネゴシエートされた DCB 情報を表示します。 例 : <code>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getdcbinfo</code>
<code>hpcnucli -fcoe -getdcbconfig</code>	指定するポート WWN の現在の DCB 管理構成を表示します。 例 : <code>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getdcbconfig</code>
<code>hpcnucli -fcoe -setdcb</code>	DCB 管理構成を対話型で変更します。 例 : <code>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -setdcb</code>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -fcoe -target -listactive</code>	<p>指定するポートに接続されているすべてのアクティブターゲットの一覧を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -target -listactive</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -target -pbindinfo</code>	<p>指定するポートに接続されているすべての永続ターゲットの一覧を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -target -pbindinfo</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -target -getinfo</code>	<p>指定するターゲットの情報を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -target -getinfo <接続されているターゲットのポート WWN></pre>
<code>hpcnucli -fcoe -target -lunlist</code>	<p>指定するターゲットと関連付けられている LUN の一覧を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -target -lunlist <接続されているターゲットのポート WWN></pre>
<code>hpcnucli -fcoe -getbootconfig</code>	<p>指定するポートの FCoE ブート構成を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getbootconfig</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -setbootconfig</code>	<p>コンソール上のポートの現在のブート構成を表示し、ブート構成を対話型で設定できるようにします。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -setbootconfig</pre>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -fcoe -ping</code>	<p>指定するポートへ SCSI 調査コマンドを送信して接続を確認します。</p> <p>オプションパラメーターは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>pcount</code> は、ping で送信されるパケットの数です。 • <code>timeout</code> は、パケットの受信を待機する最大時間です。 <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -ping <接続されているターゲットのポート WWN> [-pcount] [-timeout]</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -getfip</code>	<p>指定するポートの FIP を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getfip</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -setfip</code>	<p>特定のポートの FIP の VLAN ID を設定します。VLAN ID は 0~4094 までの範囲です（0 は VLAN が無効であることを示します）。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -setfip <VLAN ID></pre>
<code>hpcnucli -fcoe -getvirtualportinfo</code>	<p>指定する FCoE 仮想ポートに関連するすべての情報を表示します。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getvirtualportinfo</pre>
<code>hpcnucli -fcoe -createvirtualport</code>	<p>特定の物理ポートに基づいてシステムへの仮想ポートを作成します。仮想ポート WWN は引数として入力されます（仮想ポート数は最大 255 個まで可能です）。</p> <p>例：</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -createvirtualport <仮想ポート WWN 1> <仮想ポート WWN 2> ... <仮想ポート WWN 255></pre>

表は続く

コマンド	説明
<code>hpcnucli -fcoe -deletevirtualport</code>	<p>特定の物理ポートに基づいてシステムから仮想ポートを削除します。仮想ポート WWN は引数として入力されます。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -deletevirtualport <仮想ポート WWN 1> <仮想ポート WWN 2> ... <仮想ポート WWN 255></pre>
<code>hpcnucli -fcoe -getvirtualporttarget</code>	<p>指定する FCoE 仮想ポートに関連するすべての仮想ポートターゲット情報を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getvirtualporttarget <仮想ポート WWN></pre>
<code>hpcnucli -fcoe -getvirtualporttargetlun</code>	<p>指定する FCoE 仮想ポートに関連するすべての仮想ポートターゲット LUN 情報を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -fcoe <FCoE アダプターのポート WWN> -getvirtualporttargetlun <仮想ポート WWN></pre>

NPAP サブコマンドのプロパティ

`hpcnucli -npar` サブコマンドのオプションは次のとおりです。

コマンド	説明
<code>hpcnucli -npar -get</code>	<p>コンソール (NPAR モードのみ) 上の指定されたポートに関連する NPAR 情報を表示します。現在のモードが SF の場合、CLI には <code>Current mode is SF</code> というメッセージが表示されます。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -npar <MAC> -get</pre>
<code>hpcnucli -npar -set</code>	<p>コンソール上のポートの現在のモードを表示し、対話型の設定を有効にします。</p> <p>パラメーターは次のとおりです。</p> <p>SF : ポートのフロー制御</p> <p>NPAR : ポートのフロー制御、物理機能、帯域幅の重み (0~100)、および最大帯域幅 (0~100)。</p> <p>設定後にシステムの再起動が必要です。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -npar <MAC> -set</pre>
<code>hpcnucli -res -get</code>	<p>コンソール (SF モードのみ) 上の指定されたポートに関連するストレージの特性が表示されます。現在のモードが NPAR の場合、CLI には <code>This command is only effective for SF mode</code> というメッセージが表示されます。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -res <MAC> -get</pre> <p>(<code>-res</code> は「リソース割り当て」を示します)</p>
<code>hpcnucli -res -set</code>	<p>コンソール上のポートのストレージの特性を表示し、ストレージ特性の対話型設定が有効になります (SF モードのみ)。現在のモードが NPAR の場合、CLI には <code>This command is only effective for SF mode</code> というメッセージが表示されます。</p> <p>設定後にシステムの再起動が必要です。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -res <MAC> -set</pre> <p>(<code>-res</code> は「リソース割り当て」を示します)</p>

Ethernet サブコマンドのプロパティ

`hpcnucli -ethernet` サブコマンドのオプションは次のとおりです。

コマンド	説明
<code>hpcnucli -ethernet -portinfo</code>	<p>コンソール上の指定されたポートに関連するすべての情報を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC アドレス> -portinfo</pre>
<code>hpcnucli -ethernet -portstat</code>	<p>指定されたポートのすべてのポート統計情報を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC アドレス> -portstat</pre>
<code>hpcnucli -ethernet -resetstat</code>	<p>Ethernet ポートの静的属性値を 0 にリセットします。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC アドレス> -resetstat</pre>
<code>hpcnucli -ethernet -getadapinfo</code>	<p>コンソール上の Ethernet ポートに関連するすべての情報を表示します。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC> -getadapinfo</pre>
<code>hpcnucli -ethernet -setadapinfo</code>	<p>コンソール上の Ethernet ポートに関連するすべての情報を表示し、設定を対話形式で変更できます。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC> -setadapinfo</pre>

表は続く

コマンド	説明
<pre>hpcnucli -ethernet -modifytcpip -ipv4/ ipv6 -dhcp</pre>	<p>Ethernet ホスト (IPv4 または IPv6 のいずれか) を DHCP クライアントとして設定して、TCP/IP 設定が DHCP サーバーによって自動的に構成されるようにします。VLAN ID は 0~4094 までの範囲です (0 は VLAN が無効であることを示します)。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC> -modifytcpip - ipv4/ipv6 -dhcp [オプションの VLAN ID]</pre>
<pre>hpcnucli -ethernet -modifytcpip -ipv4/ ipv6 -static</pre>	<p>Ethernet ホスト上の TCP/IP 設定 (IPv4 または IPv6 のいずれか) を手動で構成するように設定します。VLAN ID は 0~4094 までの範囲です (0 は VLAN が無効であることを示します)。</p> <p>例 :</p> <pre>hpcnucli -ethernet <MAC アドレス> - modifytcpip -ipv4/ipv6 -static <VLAN ID> <IP アドレス> <サブネットマスク> <ゲート ウェイ></pre>

CLI ヘルプコマンドのスクリーンショット

以下は、CLI ヘルプコマンド出力を示すスクリーンショットです。

```

C:\Program Files\Hewlett Packard Enterprise Converged Network Utility>hpcnucli -help
Hewlett Packard Enterprise Converged Network Utility(6.0.6.1)
(C) Copyright 2015 Hewlett Packard Enterprise Development LP

List of supported commands for HPCNUCLI
<..> Mandatory Arguments
[.] Optional Arguments

hpcnucli -about
hpcnucli -showadapter
hpcnucli -import
hpcnucli -getfirmware <MAC|WWPN>
hpcnucli -iscsi -getinitiator
hpcnucli -iscsi -setinitiator <Initiator Name> [*login options]
hpcnucli -iscsi -listall
hpcnucli -iscsi -add <iSNS Server IP>
hpcnucli -iscsi -remove <iSNS Server IP>
hpcnucli -iscsi <MAC> -portinfo
hpcnucli -iscsi <MAC> -portstat
hpcnucli -iscsi <MAC> -defparam
hpcnucli -iscsi <MAC> -getbootconfig
hpcnucli -iscsi <MAC> -setbootconfig
hpcnucli -portal -listall
hpcnucli -portal -add <Portal IP> <Port Number**> [*login option]
hpcnucli -portal -remove <Portal IP> <Port Number**>
hpcnucli -target -listall
hpcnucli -target -listactive
hpcnucli -target -listpersistent
hpcnucli -target -login <Target Name> <IP> <Port Number**> [*login option]
hpcnucli -target -getinfo <Target Name>
hpcnucli -target -sessioninfo <Target Name> <Session ID>
hpcnucli -target -logout <Target Name> <Session ID>
hpcnucli -target -remove <Target Name>
hpcnucli -target -removepersistent <Target Name>
hpcnucli -target -removepersistent -all
hpcnucli -target -lunlist <Target Name>
hpcnucli -ping <IP Address>
hpcnucli -modifytcpip -ipv4 -dhcp [ULAN ID***]
hpcnucli -modifytcpip -ipv6 -dhcp [ULAN ID***]
hpcnucli -modifytcpip -ipv4 -static <ULAN ID> <IP Address> <Subnet Mask> <Gateway>
hpcnucli -modifytcpip -ipv6 -static <ULAN ID> <IP Address> <Prefix Length> [Gateway]

-fcoe <portWWN> -portinfo
-fcoe <portWWN> -portstat
-fcoe <portWWN> -resetstat
-fcoe <portWWN> -getdcbinfo
-fcoe <portWWN> -getdcbconfig
-fcoe <portWWN> -setdcb
-fcoe <portWWN> -target -listactive
-fcoe <portWWN> -target -pbindinfo
-fcoe <portWWN> -target -getinfo <Target Name>
-fcoe <portWWN> -target -lunlist <Target Name>
-fcoe <portWWN> -getbootconfig
-fcoe <portWWN> -setbootconfig
-fcoe <portWWN> -ping <Target Name>
-fcoe <portWWN> -ping <Target Name> -pcount <Count>
-fcoe <portWWN> -ping <Target Name> -timeout <time in secs>

-npar <MAC> -get
-npar <MAC> -set
-res <MAC> -get
-res <MAC> -set
-ethernet <MAC> -portinfo
-ethernet <MAC> -portstat
-ethernet <MAC> -resetstat
-ethernet <MAC> -getadapinfo
-ethernet <MAC> -setadapinfo
-ethernet <MAC> -gettcpip
-ethernet <MAC> -modifytcpip -ipv4 -dhcp [ULAN ID***]
-ethernet <MAC> -modifytcpip -ipv6 -dhcp [ULAN ID***]
-ethernet <MAC> -modifytcpip -ipv4 -static <ULAN ID> <IP Address> <Subnet Mask> <Gateway>
-ethernet <MAC> -modifytcpip -ipv6 -static <ULAN ID> <IP Address> <Prefix Length> [Gateway]

* <-mp> <-hd> <-dd> <-Option <-mutualCHAP ! -oneWayCHAP>> <-np> <TargetCHAP> <TargetSecret> <InitiatorCHAP>
<InitiatorSecret>
** Default Port Number : 3260
*** Default ULAN ID : 1

```

CNU システムログの場所

CNU システムログは、次のディレクトリに格納されます。

\$installDir\$hpcnu.log

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) Storage 互換性マ
トリックス

[http://www.hpe.com/storage/
spock](http://www.hpe.com/storage/spock)

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

[http://www.hpe.com/storage/
whitepapers](http://www.hpe.com/storage/whitepapers)

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様への権利付与を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス	http://www.hpe.com/jp/hpaalert
HPE プロアクティブ ケアサービス	http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja
HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト	http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts (英語)
HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト	http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts

保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション	http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties
HPE エンタープライズサーバー	http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties
HPE ストレージ製品	http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties
HPE ネットワーク製品	http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH (欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006) のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

頭字語と略語

CHAP

Challenge Handshake Authentication Protocol

CNU

Converged Network Utility。コンバージドネットワークユーティリティ

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol

FCoE

Fibre Channel over Ethernet

ICMP

Internet Control Message Protocol

IQN

iSCSI qualified name。iSCSI 修飾名

iSCSI

Internet Small Computer System Interface

iSNS

Internet Storage Name Service

LUN

logical unit number。論理ユニット番号

MAC

Media Access Control。メディアアクセス制御

NPAR

NIC partitioning。NIC パーティショニング

SF

single function。シングルファンクション

VLAN

virtual local-area network。仮想ローカルエリアネットワーク

WWN

World Wide Name